

## 令和5年度の青少年健全育成事業実施内容及び令和6年度の事業計画について

	主な事業	事業内容	実施状況	R5年度実績	R6年度見込
青少年の育成に係る総合企画	あさひかわっ子夢応援プロジェクト	<p>市内在住の中学生から将来の夢を叶えるために「今チャレンジしてみたいこと」を募集し、選考された企画に対して、実現に必要な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用数 大賞1件 奨励賞4件</li> <li>・支援額 大賞上限50万円 奨励賞上限5万円</li> <li>・審査方法</li> </ul> <p>【1次選考】書類審査により5件選定 【2次選考】プレゼンテーションを行い、審査員により大賞1件を選定する。</p>	大賞1名及び、奨励賞4名のうち研修受講希望のあった3名の研修を実施。	応募数 12件 大賞 1件 奨励賞 4件	応募見込数 15件程度 大賞 1件 奨励賞 4件
	少年の主張大会	<p>物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく相手に理解してもらう力を身につける契機となることを目的として、少年が意見を発表する機会を設ける。</p>	参加校がなかったため、大会の開催を中止。	開催中止	令和5年度をもって事業廃止 (市内中学校へのアンケート結果から、今後大会に参加する学校が見込めないため)
青少年団体の指導及び育成	子ども会活動 次世代健全育成事業	<p>小学4年生から高校3年生までの会員で組織する団体で、異なる年齢の子どもたちがキャンプやレクリエーションなどの体験を通して、社会性、自主性及び協調性を養う。</p>	5/20 レクリエーション講習会 7/15,16 1泊2日のキャンプ 9/2 施設見学 2/3,4日 宿泊研修	旭川市連合子ども会 会員登録者数 92人 参加者(引率者を含む) レク講習会 41人 キャンプ 42人 施設見学 27人 宿泊研修 32人	旭川市連合子ども会 会員見込数 100人程度 参加者(引率者を含む) レク講習会 50人 キャンプ 50人 施設見学 40人 宿泊研修 45人
	異世代交流事業	<p>世代の異なる子どもたちが交流を通して自律心や自主性を育てることを目的に、自ら企画、立案及び運営する事業を実施する。</p> <p>※ サバゲー大会について、これまで2日間の開催としてきたが、運営スタッフの確保が困難となってきた現状を踏まえて、1日開催に改める予定。</p>	8/19,20 夏のサバゲー大会 12/17 あったかいね、あさひかわ	夏のサバゲー大会 参加希望者 213人 参加決定者 96人 (実参加者 82人) あったかいね、あさひかわ 来場者数 655人 (うち子ども 363人)	サバゲー大会(予定) 参加予定数 48人 あったかいね、あさひかわ 来場期待数 700人 (うち子ども 350人)
職業体験	あさひかわ キッズタウン	<p>日々の学校生活や日常生活では体験することができない「職業体験」を通じて、働くことの意義や喜び、大切さを学ぶ機会を提供する。</p>	11/18 小学校4・5年生を対象に実施	申込者 598人 当選 350人 来場者 331人 出展者 21企業/23ブース	参加対象 小学4・5年生 参加決定予定数 350人 出展者 20企業程度 ※ 参加者について、応募者が予定数を上回る場合は、抽選にて決定

## 令和5年度の青少年健全育成事業実施内容及び令和6年度の事業計画について

	主な事業	事業内容	実施状況	R5年度実績	R6年度見込
青少年の 非 行 防 止	補導活動	各関係機関や団体と連携し、市に登録された青少年補導員とともに、市内のカラオケ店、ゲームセンター、駅や公園等を巡回し補導活動を実施する。市内で催される祭典や花火大会等についても同様の活動を実施する。	(参考) R4青少年補導員194人 補導148人 呼びかけ指導725人	青少年補導員194人 補導100人 呼びかけ指導325人 (R6.1月末時点)	青少年補導員 登録者数 200人 随時実施
	出前講座	主に就学前の子どもを持つ保護者を対象に、子どもの安全と非行防止についての講義を行う。	1回45分程度の講座を実施した。	講座回数 2回 参加総数 22人 (R6.3月に開催予定)	依頼の都度実施
	愛のパトロール 運動	内閣府提唱の「大人が変われば、子どもも変わる運動」の趣旨に基づき、青少年を非行や痛ましい事故から守るため、地域ぐるみでパトロール活動を実施する。	青少年の生活生態の変化に伴い、従来のパトロール活動に加え市内中心部での街頭啓発活動を実施。	参加団体数 44団体 出動回数 687回	参加団体数 40団体 出動回数 650回
	立ち直り支援・居場所づくり事業	補導活動の中で関わりのあった少年等を対象に、自分を見つめ直し、前向きに人生を歩んでもらうきっかけづくりとなるよう、様々な体験活動を実施する。	補導人数の減少、面談指導の中止、警察と参加少年が同一になる等参加少年の確保が難しくなったため、本事業を警察との共催事業とすることとした。	農業体験(4回) 参加者数 延べ100人 ものづくり体験(3回) 参加者数 延べ47人  ※ いずれも引率等を含む	農業体験(4回) 参加者数 延べ100人 ものづくり体験(3回) 参加者数 延べ50人
所 管 施 設 の 管 理 運 営	春日青少年の家	旧春日小学校校舎を転用し、青少年の健全育成を目的とした野外活動施設として設置。キャンプ用テントや寝袋を無料で貸し出している。(開設期間5~10月) 老朽化のため、大規模な補修が必要となった際には施設は廃止予定。		利用者数 キャンプ 144人 日帰り 165人 合計 309人	利用者数 キャンプ 200人 日帰り 150人 合計 350人
	児童センター (6館)	児童に健全で楽しい遊びを提供し、健康を増進し情操を豊かにするために、児童福祉法に基づいて設置している児童厚生施設。子どもたちが自由に来館し、遊びを通じて仲間の輪を広げている。 指定管理者による管理運営であり、現在、令和2年度から5年間の協定を締結している。	(参考) 来館者数 R4 81,599人	来館者数 75,762人 (R6.1月末時点)	目標来館者数(6館合計) 100,000人/年
	北彩都子ども 活動センター	青少年の活動、子育て支援及び地域住民の日常生活の充実を図るための施設。バスケットゴールやクライミングウォール、ダンス練習用の鏡のある運動室、バンド練習ができる音楽室、打合せなどに使える和室などがある。 指定管理者による管理運営であり、令和2年度から5年間の協定を締結している。	(参考) 来館者数 R4 29,225人	来館者数 26,941人 (R6.1月末時点)	目標来館者数 30,000人/年